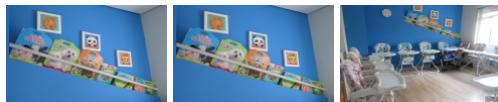


要請番号 (NJ30917A09)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ブラジル	G183 幼児教育		日系	新規	2年	・ 2018/1



【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

サウージ学園

2) 配属機関名 (日本語)

サウージ学園
日系社会

3) 任地 (サンパウロ州サンパウロ市) JICA事務所の所在地 (サンパウロ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

サウージ学園は1993年にカトリック系教会の子ども3人を預かったことから始まる。現在は生後4ヶ月から10歳までの約160名が通う比較的小規模な私立学校である。家庭的な雰囲気を維持しながら、生徒の家族に対しても愛情、敬意、責任等を持ち、生徒、教職員、そして地域コミュニティーが一体となって共に学び、成長できる環境作りを目指している。また、年間行事として運動会、家族の日、感謝祭などの行事を行っている。年間事業予算は約90万米ドル。現在、日系社会青年ボランティアとして小学校教育職種1名が活動中(2018年3月まで)。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

日系2世である学園長が日本的礼儀を重んじており、選択科目として日本語授業を週2回行い、また、ラジオ体操、ミニ運動会、日本の童謡などを日替わりで毎朝行っている。初代ボランティアである小学校教育職種の現職教員は、保育園・幼稚園から小学校まで様々なクラスを横断し、日本の歌や踊り、日本語などを導入している。また理科や算数、社会などの授業にも参加し、一定の成果をあげている。しかしながら、同学園は小学生よりも保育園・幼稚園の生徒の方が多いため、後任には前任の活動を引き継ぎつつも、幼児教育に重点を置いた活動が期待され、幼児教育職種での要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 毎週1回各クラスに入り、日本の歌や折り紙など、典型的な日本の遊びを通して、日本や日本語に親しむ活動を行う。
- 折り紙や体操、書道、料理などのワークショップや、運動会などの学校行事を支援する。
- 現地教員の日本語や日本文化の指導力向上を支援する。
- 日本式の幼児教育の手法を現地教員に紹介する。
- 毎週コーディネーターとの打ち合わせを行う。
- 職員会議に参加する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

三輪車スペース、砂場、バレエ室、柔道室、食堂、テレビ、インターネット、プロジェクター、パソコン、タブレット、ノートブックなど

4) 配属先同僚及び活動対象者

学園長:1名(女性、日系2世、60代)
コーディネーター:1名(女性、日系3世、30代)
教師数:22名(うち日系5名)
※校長、教師1名、日本語教師1名のみ日本語可
生徒数:約160名(0-10歳、日系約7割)
※活動対象は3才以上

5) 活動使用言語

ポルトガル語

6) 生活使用言語

ポルトガル語(日本語)

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：(幼稚園教諭)
(保育士)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：教員への支援も求められるため

[参考情報]：

- ・保育士は幼児クラス経験が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(西岸海洋性気候) 気温：(5～35℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 通話可 電話可)

[水道]：(安定)

【特記事項】

配属先で円滑な活動をするにはポルトガル語でコミュニケーションを取る必要があるため、語学力習得が強く望まれる。